

ありがとうございます
安心・安全な生活をサポートする

朝日工業グループです

第24期第2四半期
累計期間のご報告

2014年4月1日～2014年9月30日

証券コード 5456 東京証券取引所 JASDAQ



〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-23-5 Daiwa東池袋ビル
TEL: (03) 3987-2161 FAX: (03) 3987-5326
URL: <http://www.asahi-kg.co.jp/> E-mail: asahikg@asahi-kg.co.jp



この印刷物は環境に配慮し、森林認証紙と、地産地消・輸送マイルージに配慮したライスインキを使用し水なし印刷方式を採用しています。



ごあいさつ

株主のみなさまにおかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。当社の事業活動に関しましては、平素より一方ならぬご支援とご高配を賜り、深く感謝いたしております。

当社グループの第24期第2四半期累計期間につきましては、主力事業である鉄鋼建設資材事業において、第1四半期の製鋼工場停止、第2四半期の鉄筋需要の停滞による販売数量減少などにより、連結業績は前年同期に比べ減収減益となりました。この第2四半期の業績を踏まえ、今後の計画を見直した結果、通期予想を売上高37,000百万円(5/12開示は41,000百万円)、営業利益550百万円(同1,400百万円)、経常利益500百万円(同1,350百万円)、当期純利益600百万円(同550百万円)に修正いたしました。これにより一株当たり当期純利益は85.71円(同78.57円)となりました。このような業績を勘案し、当社の中間配当につきましては、遺憾ながら無配とさせていただきます。株主のみなさまには心よりお詫び申し上げます。なお、期末配当につきましては未定とさせていただきます。第3-4四半期につきましては、依然として工事着工時期に懸念は残るものの、首都圏の再開発やオリンピック関連事業などによる大型プロジェクトを控え、鉄筋需要の増加が見込まれる中、私たちはさらに、営業を強化するとともに、エネルギー・コスト削減活動などを着実に推進し、鉄鋼建設資材事業の早期黒字化を達成するよう最大限の努力をいたします。株主のみなさまには引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 赤松 清茂

第24期(2015年3月期)第2四半期累計期間について

■ 鉄鋼建設資材事業

第1四半期および第2四半期の業績は、以下の通り推移しました。

- 第1四半期では、製鋼工場の停止中、他社から鋼塊(ピレット)を購入して圧延工場を操業し製品供給を続けましたが、鋼塊購入数量が限られていたことから、販売数量は前年同期と比べ減少しました。また、鋼塊を購入したことによりコスト高となったことが収益を圧迫しました。
- 第2四半期では、再稼動した製鋼工場が順調な操業を続け、販売拡大に向け積極的な営業活動を推進しました。しかし、鉄筋需要が盛り上がり欠いたことから、販売数量は前年同期と比べ減少しました。コスト面では、製造のコストダウン計画を強力に推進しました。また、販売価格が上昇し鉄スクラップ価格との値差が広がったことから、前年同期と比べ収益が改善されました。

当第2四半期連結累計期間では、第1四半期中の製鋼工場停止が強く影響し、前年同期と比べ減収となりました。利益面では、前年同期と比べ改善しました。

■ 農業資材事業

主力事業であります肥料事業では、有機質肥料を中心に販売拡大に努めましたが、前期末における消費税増税前の前倒し出荷の影響が大きく、前年同期と比べ減収減益となりました。

園芸事業では、新規ホームセンターとの取引拡大、既存取引先に対する秋シーズンに向けた企画提案を行いました。また、物流コストの低減に取組み始めました。

種苗事業では、アニモの改良品種ならびに新商品のカボチャの普及試作を実施しました。

乾牧草事業では、新たな販売地域として東海地区への販売拡大を進めました。

■ 環境ソリューション事業

放射能分析は増加しましたが、水質・土壌の分析業務は前年より減少したことから、前年同期と比べ減収減益となりました。

■ 砕石砕砂・マテリアルリサイクル事業

砕石砕砂事業では、好調な生コンクリート・アスファルト合材需要を背景に販売価格の値上げを進めたことから、前年同期と比べ増収となりました。しかし、製造設備の修繕費が増加したことから、前年同期と比べ減益となりました。マテリアルリサイクル事業では、木造建造物の解体による木くずの集荷量が拡大しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は15,068百万円(前年同期比26.7%減)、営業損失は550百万円(前年同期は営業損失525百万円)、経常損失は547百万円(前年同期は経常損失545百万円)、四半期純損失は、2014年9月30日開示の「特別利益の計上に関するお知らせ」に記載しましたとおり、製鋼工場屋根圧屈などの雪害関連の受取保険金459百万円を含め合計で464百万円の特別利益を計上したことで375百万円(前年同期は四半期純損失1,262百万円)となりました。

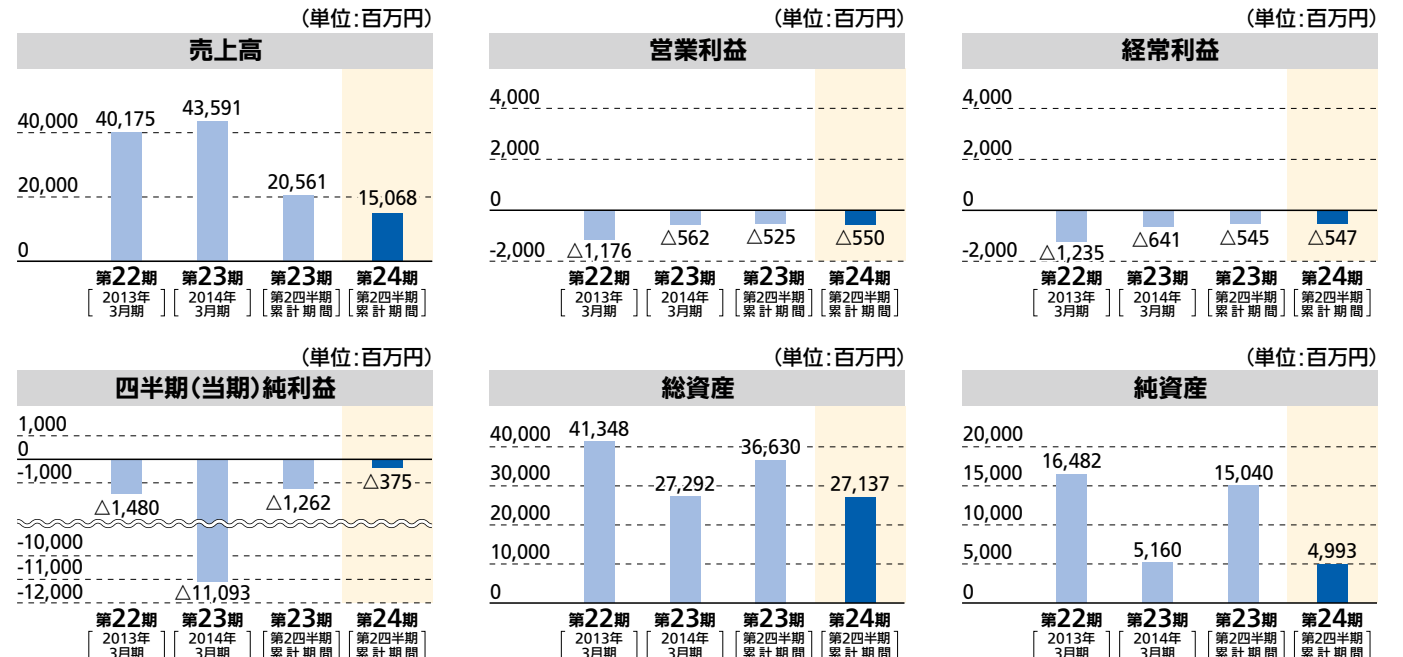
財務ハイライト

営業成績および財産の状況の推移(連結)

(単位:百万円)

	第22期 [2013年3月期]	第23期 [2014年3月期]	第23期 [第2四半期累計期間]	第24期 [第2四半期累計期間]
	連結	連結	連結	連結
売上高(百万円)	40,175	43,591	20,561	15,068
営業利益(百万円)	△1,176	△562	△525	△550
経常利益(百万円)	△1,235	△641	△545	△547
四半期(当期)純利益(百万円)	△1,480	△11,093	△1,262	△375
総資産(百万円)	41,348	27,292	36,630	27,137
純資産(百万円)	16,482	5,160	15,040	4,993
自己資本比率(%)	39.9	18.9	41.1	18.4
1株当たり四半期(当期)純利益(円)	△211.48	△1,584.79	△180.31	△53.57
1株当たり純資産額(円)	2,354.67	737.18	2,148.62	713.41

※当社は、2013年7月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っております。第22期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」「1株当たり純資産額」を算定しております。



四半期連結貸借対照表(要旨) (単位:百万円)

科目	当第2四半期末 2014年 9月30日現在	前期末 2014年 3月31日現在
資産の部		
流動資産	13,599	14,162
現金及び預金	1,830	2,640
受取手形及び売掛金	3,866	5,952
商品及び製品	5,911	3,221
原材料及び貯蔵品	1,518	2,060
その他	474	293
貸倒引当金	△ 2	△ 5
固定資産	13,537	13,129
有形固定資産	10,873	10,652
建物及び構築物(純額)	3,461	3,139
機械装置及び運搬具(純額)	3,947	4,053
土地	2,678	2,678
その他	786	780
無形固定資産	180	196
投資その他の資産	2,483	2,280
資産合計	27,137	27,292

(単位:百万円)

科目	当第2四半期末 2014年 9月30日現在	前期末 2014年 3月31日現在
負債の部		
流動負債	15,802	16,848
支払手形及び買掛金	4,854	5,947
短期借入金	6,415	5,915
1年内償還予定の社債	120	120
1年内返済予定の長期借入金	1,834	1,790
未払法人税等	30	62
賞与引当金	136	146
その他	2,411	2,866
固定負債	6,341	5,284
社債	150	210
長期借入金	4,340	3,105
退職給付に係る負債	923	1,050
その他	927	918
負債合計	22,143	22,132
純資産の部		
株主資本	4,436	4,729
資本金	2,190	2,190
資本剰余金	1,802	1,802
利益剰余金	737	1,030
自己株式	△ 293	△ 293
その他の包括利益累計額	557	430
その他有価証券評価差額金	443	351
為替換算調整勘定	116	103
退職給付に係る調整累計額	△ 2	△ 23
純資産合計	4,993	5,160
負債純資産合計	27,137	27,292

第2四半期連結累計期間損益計算書(要旨)(単位:百万円)

科目	当第2四半期 累計期間 2014年4月1日から 2014年9月30日まで	前第2四半期 累計期間 2013年4月1日から 2013年9月30日まで
売上高	15,068	20,561
売上原価	12,732	17,651
売上総利益	2,336	2,909
販売費及び 一般管理費	2,886	3,435
営業損失(△)	△ 550	△ 525
営業外収益	124	105
営業外費用	121	125
経常損失(△)	△ 547	△ 545
特別利益	464	1
特別損失	257	89
税金等調整前四半期 純損失(△)	△ 340	△ 633
法人税、住民税及 び事業税	37	57
法人税等調整額	△ 3	570
四半期純損失(△)	△ 375	△ 1,262

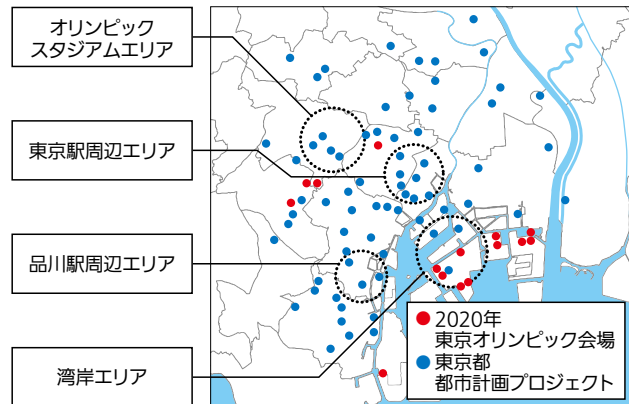
第2四半期連結累計期間キャッシュ・フロー計算書(要旨)(単位:百万円)

科目	当第2四半期 累計期間 2014年4月1日から 2014年9月30日まで	前第2四半期 累計期間 2013年4月1日から 2013年9月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	△ 1,899	1,462
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 476	△ 1,517
財務活動による キャッシュ・フロー	1,564	△ 383
現金及び現金同等物に かかる換算差額	2	7
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△ 809	△ 431
現金及び現金同等物の 期首残高	2,640	2,561
現金及び現金同等物の 四半期末残高	1,830	2,130

首都圏の大型プロジェクト目白押し

現在、首都圏では建築、土木の大型プロジェクトが多数計画されています。主要ターミナル駅周辺の再開発や湾岸エリアの開発をはじめ、首都高速や東京外環道などの高速道路の延伸や羽田、成田空港の拡張などのインフラ整備が徐々に動き出しています。さらに、開催まで6年を切った東京五輪・パラリンピックの競技場や選手村などの具体的な計画が進んでいます。

当社も物件情報を早期に入手し、大型プロジェクトで多く使用される高強度・太径鉄筋、ねじ鉄筋の販売に注力してまいります。



おいしいトマト「アニモ」

アニモは種苗事業の代表選手ですが、みなさまにもっと満足して頂きたい!そんな思いで品種改良に力を入れています。この度、その努力が評価され、*SHP 第1回品種比較試験(養液栽培に適する高品質・多収性品種の評価)で2位を獲得しました。アニモは入賞品種(上位3位)で唯一黄化葉巻病に強い品種でした。既に土壌栽培で実績がありますが、養液栽培でも実力を発揮しました。

*SHP (Super Hort Project) 産官学連携の施設園芸短期技術革新プロジェクト



メロン台木とカボチャ「プリメラ」

朝日工業は病気に強い台木の開発にも力を入れています。土壌中の病原菌の感染を防ぐため接木が行われますが、この土台となるのが台木です。日本有数のメロン産地富良野で、私たちのメロン台木がトップシェアを占めています。

また、おいしいカボチャの「プリメラ」が来年からの本格販売を控え、カボチャ栽培面積日本一の北海道で試作面積を広げています。みなさまの食卓に上るのはもうすぐです。



- 商号 朝日工業株式会社
- 本社 〒170-0013 東京都豊島区東池袋三丁目23番5号 Daiwa東池袋ビル
- 創立 1935年 8月16日
- 設立 1991年10月29日
- 資本金 2,190百万円
- 従業員数 424名(グループ 518名)
- 事業所

本社	東京都豊島区東池袋3-23-5 Daiwa東池袋ビル TEL(03)3987-2161
埼玉事業所	埼玉県児玉郡神川町渡瀬222 TEL(0274)52-2711
埼玉工場(鉄鋼)	埼玉県児玉郡神川町渡瀬222 TEL(0274)52-2713
関東工場(肥料)	埼玉県児玉郡神川町渡瀬222 TEL(0274)52-2712
千葉工場(肥料)	千葉県旭市さくら台1-13 TEL(0479)68-1600
大阪事業所(肥料)	大阪府大阪市北区西天満1-2-5 大阪JAビル TEL(06)6311-6215
関西工場(肥料)	滋賀県甲賀市水口町水口6776 TEL(0748)62-8171
東北事業所	宮城県仙台市太白区富沢4-4-2 小島ビル TEL(022)307-3880
生物学研究所	埼玉県児玉郡神川町渡瀬222 TEL(0274)52-6339
神川農場	埼玉県児玉郡神川町大字新里字東北原863-2
農業相談室	埼玉県児玉郡神川町渡瀬222 TEL(0274)52-6462

- 取締役および監査役
- 代表取締役社長 赤松 清茂 取締役 稲場 進
- 常務取締役 中村 紀之 取締役 矢口 誠
- 常務取締役 町田 尚輝 常勤監査役 田島 一郎
- 常務取締役 飯島 功 常勤監査役 佐藤 光
- 取締役 広瀬 清 監査役 村田 恒
- 取締役 佐藤 真 監査役 新垣 良爾

- 関係会社
- 株式会社環境科学コーポレーション
東京都豊島区東池袋3-23-5 Daiwa東池袋ビル
TEL(03)3987-2182
- 株式会社上武
埼玉県秩父郡皆野町金沢3085-1
TEL(0494)62-1321
- 株式会社ティ・アンド・アイ
埼玉県児玉郡神川町渡瀬222
TEL(0274)52-6411
- ASAHI INDUSTRIES AUSTRALIA PTY. LTD.
A.C.N 070 911 036
C/O PricewaterhouseCoopers
Freshwater Place, 2 Southbank Blvd.
Southbank, VIC 3006, Australia

株主優待制度のご案内

	優待内容	
	通常株主優待	長期保有株主優待 (一年以上保有の株主様)
100株以上200株未満	お米券(4枚)	クオカード(500円分)
200株以上300株未満	お米券(8枚)	クオカード(1,000円分)
300株以上500株未満	お米券(12枚)	クオカード(1,500円分)
500株以上	お米券(16枚)	クオカード(2,000円分)

